

におねっとプラス



令和5年12月6日配信第12号
発信元:しが学校支援センター
滋賀県教育委員会事務局
生涯学習課内担当 石田、片岡
電話:077-528-4654
mail:ma0601@pref.shiga.lg.jp

ちこうごういつ 「知行合一」



「いつの間にかすでに年末…」、例年の事ではありますが二学期後半の時の流れの早さを感じます。

今年も『におねっと』のご活用ありがとうございました。(12月6日現在129件の連携授業依頼等)

学校は常にドラマチックです。その原動力こそ、子どもたちが秘めている可能性や潜在能力だと思います。それらのエネルギーをもっと生かそうと思うと、知識一辺倒では奇跡は起こりません。知識に基づいた実行が伴って初めて、本当に「わかった」と感じるのではないのでしょうか。

『におねっと』の学校支援メニューは、生きた学び、経験を生かした学びを追求しています。来年も大いに、気楽に『におねっと』をご活用ください。

☆情報あれこれ1☆<メニュー内容追加のお知らせ>

『特定非営利活動法人やんちゃ寺』の出前メニューに具体的なテーマが追加されました！！

- ・子どもの権利について
- ・人権について
- ・自分と相手を大切にするコミュニケーションの方法
- ・アサーショントレーニング(自分を表現する方法)
- ・子どもや女性、声をあげられない・反映されない人権について
- ・心の健康を守るための民主的なコミュニケーション
- ・職業講話(人生や進路相談の幅・視野を広げる)

分野8. 福祉・人権・国際理解
コード:21901
タイトル
「子どもの心のサポート授業」

ご活用ください。

☆前期出前授業「事後アンケート」特集 part3☆



<自然環境編>

近畿環境保全株式会社(リサイクルに関する環境学習) 小学校4年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・車のスイッチを操作したり運転席に乗せてもらったり、実際に来ていただかないとできない活動がいっぱい、子どもたちにはとても素晴らしい体験をさせることができ有り難かった。 ・ホワイトボードでの説明もとても分かりやすかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き缶などが回収された後、実際にどうなるのかを初めて知った。 ・パッカー車には、ごみを出すための工夫や安全の仕組みが詰まっていることがよく分かった。 ・ごみを運んだり分けたりするのは楽しかったけれど、毎日ならしんどそうだと感じた。



滋賀県琵琶湖保全再生課(琵琶湖の環境・保全について) 小学校2年、5年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖の魅力や課題などを2年生向けの平たい言葉で説明していただき、大変分かりやすかった。 ・クイズ形式や写真や図の提示を取り入れて、児童の興味を持続しながら学習が進められた。 ・MLGsの意味がよく分かった。MLGs体操を学んだ後、子どもたちが教室でやっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな身近に、こんなにもすごい湖があるとは思わなかった。 ・琵琶湖にしかない動物や植物がいて驚いた。 ・博物館や本などでもっと調べたい。 ・MLGsがあることに驚き、今後意識して取り組んでいきたいと思った。 ・MLGs体操が楽しかった。



<食育編>

滋賀県栄養士会（食育指導・調理実習指導など；〇〇市の食文化と歴史）中学校1年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身も自分たちの市の食文化について、調べて知識を深めてはいるが、ネットや資料などでの情報には限界がある。そこで、今回のように実物を見せてもらいながら、専門家のお話を伺うと、生徒にとって説得力があり、より関心をもって聴くことができているように感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化と食には深いつながりがあり、食をとおして季節や文化を感じることができる素晴らしさを初めて知った。 これからの時代を支えていく私たちが、地域の文化と食に興味を持ち、他の人たちにも興味や関心を持ってもらえるように取り組んでいきたいと思った。

フジノ食品（食育「食の匠の出張講座」）小学校6年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> 体験自体にも魅力はあったが、シェフの地域に対する思いや仕事の意義や意味を伝えてもらい感動した。地産地消、三方よしなど、地域への貢献やお客さんの笑顔が喜びであることなど、大変分かりやすく素晴らしいお話だった。子どもたちもすごく喜んでいました。 	<ul style="list-style-type: none"> シェフのケーキ作りの手際よさに驚いた。 シェフが、「何でも毎日コツコツやっていると少しずつ上手になるよ。」と教えてくださったので僕もコツコツ努力していきたいと思った。 シェフからパティシエを始めた経緯を聞いて、好きなことを続けていく大切さを学んだ。 

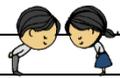
<国際理解・福祉・人権編>

滋賀県介護福祉会（介護福祉士のお仕事について）小学校5年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせでは、学校の思いを優先して、それにあった様々な体験活動を提示してくださった。 当日は、子どもたちがたくさん体験できるように工夫していただき、高齢者の立場に立って学習ができた。また、多くの体験で、その後の学習にも、より高齢者の気持ちに寄り添い、考えを深められた。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者になったら、どのような体の変化があるのかを知ることができた。 認知症の意味や症状を体感できた。 白内障や視野狭窄症についても体感できた。 自分にできることは「高齢者の立場に立って寄り添うこと」だと思った。 体の筋肉が落ちるととても動きにくいことが体感できたので今後は手助けしていきたい。

<キャリア教育編>

おうみ未来塾「仕事人と語ろう」グループ（マナー講座）中学校2年

学 校	子 ども
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、真剣に話を聴いて実践しようとして取り組んでいた。 学んだ収穫が多く、本校の教育目標でもある「社会性を身に付ける」という意味を考える良い機会となった。 職場体験までに学校や家でも実践させたい。 おしゃれと身だしなみの違いやマナーについての「心の架け橋」についても生徒によくわかる内容であった。 	 <ul style="list-style-type: none"> マナーとルールの違いがよく分かった。 これからの授業の初めのあいさつやお辞儀についても意識していきたいと思った。 状況により、お辞儀の角度も変えることが大切で、お辞儀の角度がとても難しかった。 敬語が使えないのは問題で、見た目も内面も良くしていきたいと思った。 マナーは生きていくために必要で、一つひとつの動きにも意味があり、気持ちがこもっていないとだめだとわかった。

皆様にとって、今日も明日もいい日になりますように！！